

うじいえやいた
国道4号氏家矢板バイパス
かますさか おつはた
(さくら市蒲須坂～矢板市乙畑) が
7月11日に開通します。

—記者発表資料—

このたび、国道4号氏家矢板バイパス（さくら市蒲須坂～矢板市乙畑）が開通することになりましたのでお知らせします。

【開通日時】平成21年7月11日（土）16時

【開通区間】国道4号氏家矢板バイパス

さくら市蒲須坂～矢板市乙畑

約4.3km（2車線）

※当日10時より、「国道4号氏家矢板バイパス（さくら市蒲須坂～矢板市乙畑）」開通式を行います。

詳細については、後日記者発表でお知らせ致します。

平成21年 6月 9日（火）
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、
神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所
電話 028-638-2181（代表）

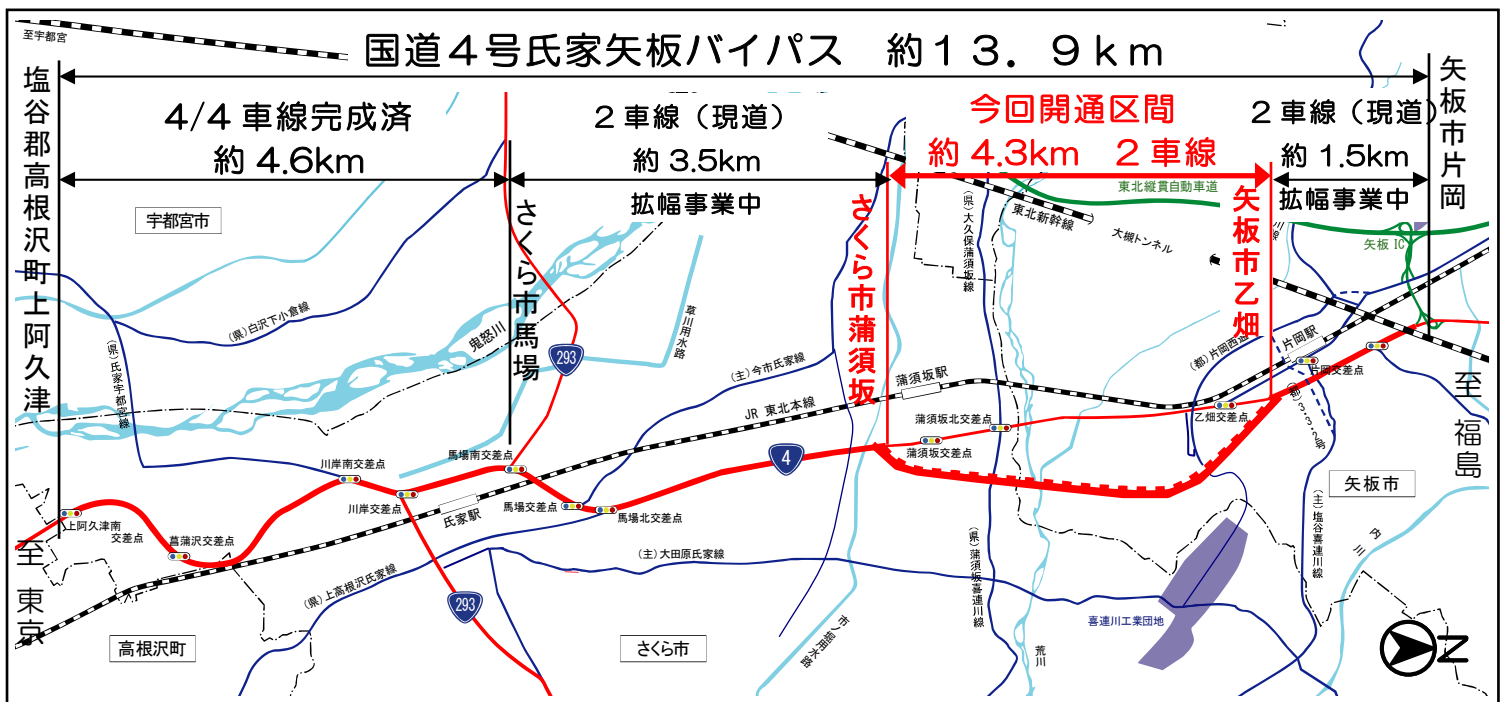
副所長 はやの ひでと 計画課長 あくつ やすのり
早野 英人 阿久津 保則

国道4号氏家矢板バイパスの概要

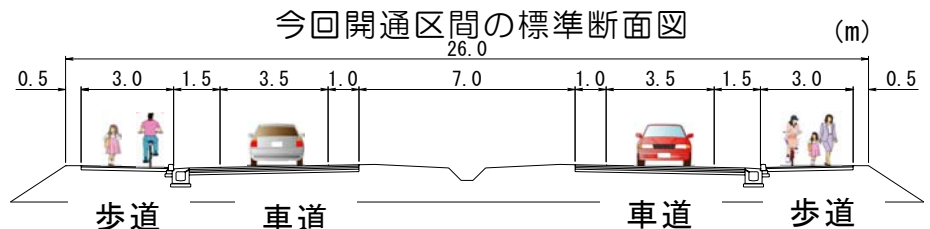
● 国道4号氏家矢板バイパスは、栃木県塩谷郡高根沢町～さくら市～矢板市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を目的とした、塩谷郡高根沢町から矢板市片岡に至る延長約13.9kmのバイパス及び現道拡幅事業です。

● そのうち塩谷郡高根沢町上阿久津から、さくら市馬場の延長約4.6kmについて、平成18年度までに完成4車線で整備済みです。

《今回開通する『さくら市蒲須坂～矢板市乙畑』間の概要》
 事業延長: 約4.3km
 計画車線: 4車線(うち今回開通は2車線)
 工事着手: 平成14年度



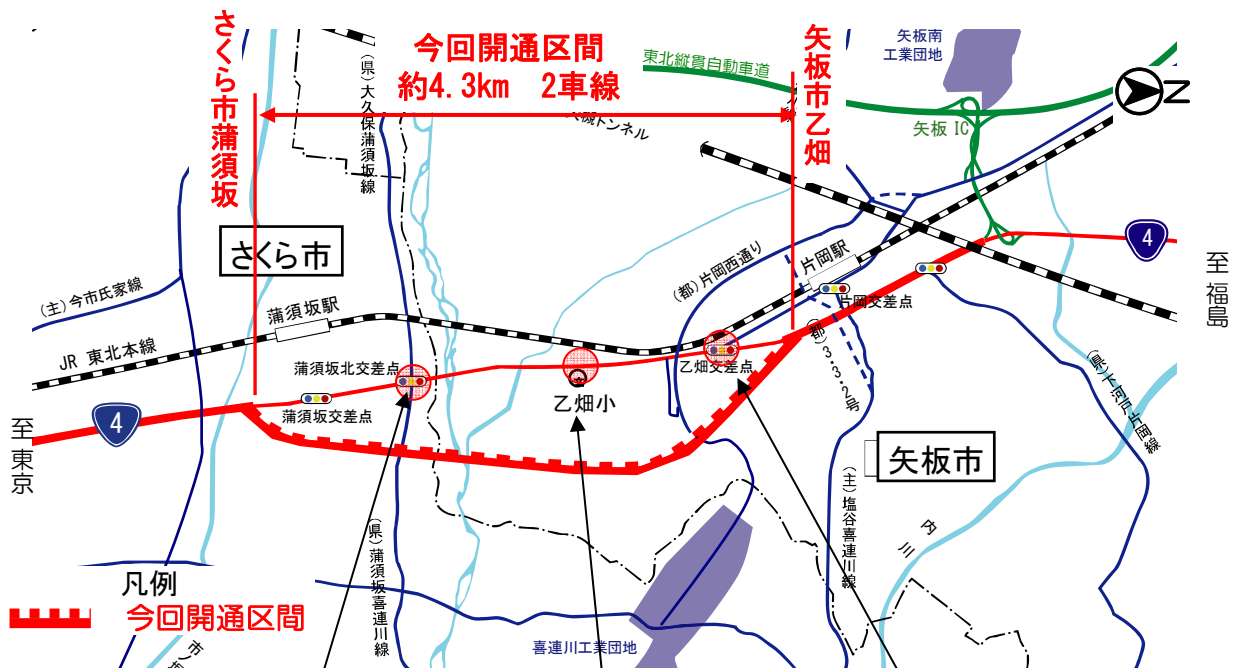
凡例
 今回開通区間



国道4号氏家矢板バイパス（さくら市蒲須坂～矢板市乙畑） の開通による整備効果

○国道4号の渋滞緩和・事故減少に寄与

氏家矢板バイパス（さくら市蒲須坂～矢板市乙畑）が完成した場合、国道4号の交通が氏家矢板バイパスに転換され、交差点の渋滞緩和、市街地の交通事故の減少が期待されます。



蒲須坂北交差点付近



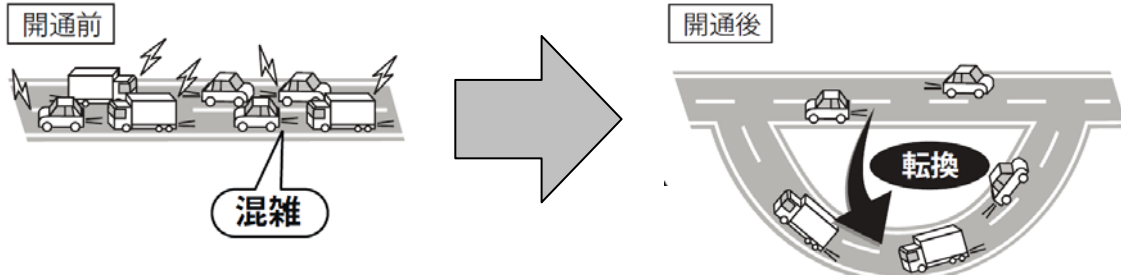
乙畑小学校付近



乙畑交差点付近

※バイパスの効果

バイパスが整備されると交通の転換により、現道の渋滞が緩和し、安全性が向上します。

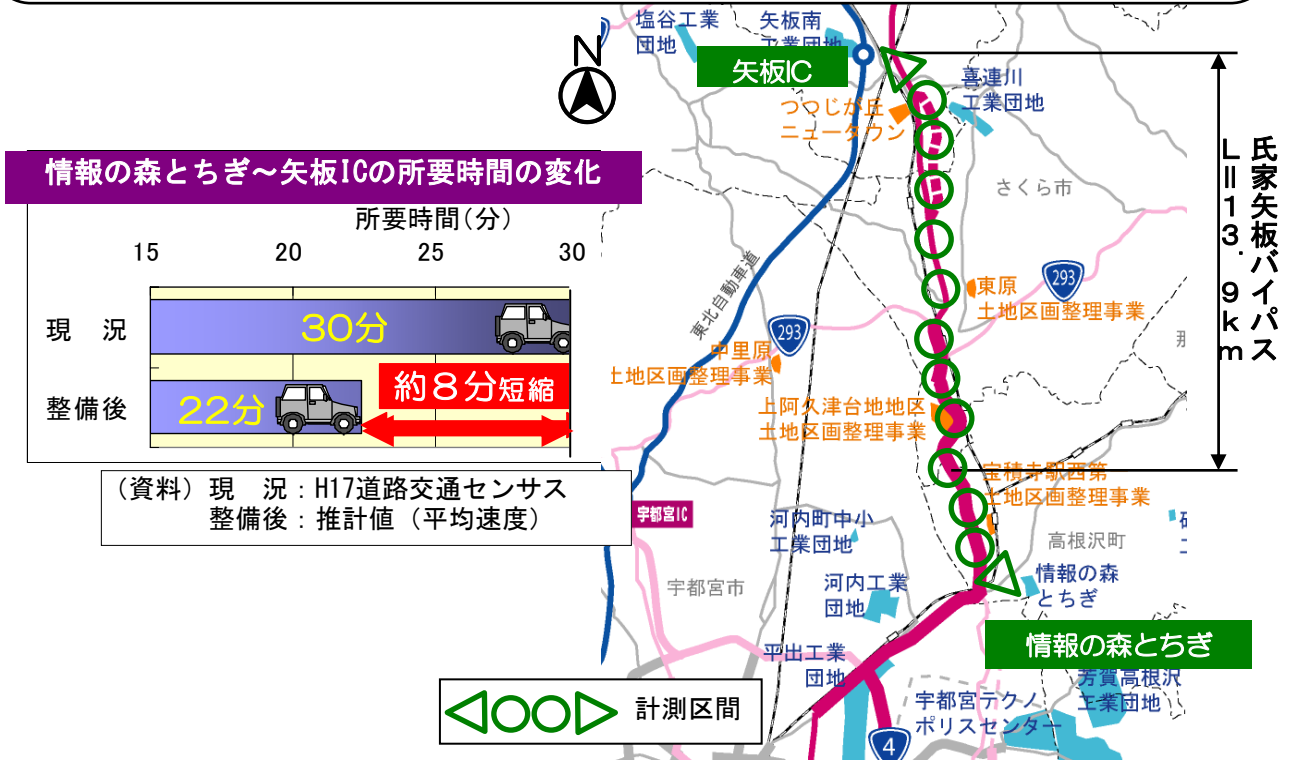


※開通後の整備効果については、今後、順次公表する予定としております。

■国道4号氏家矢板バイパスが全線完成した場合の整備効果

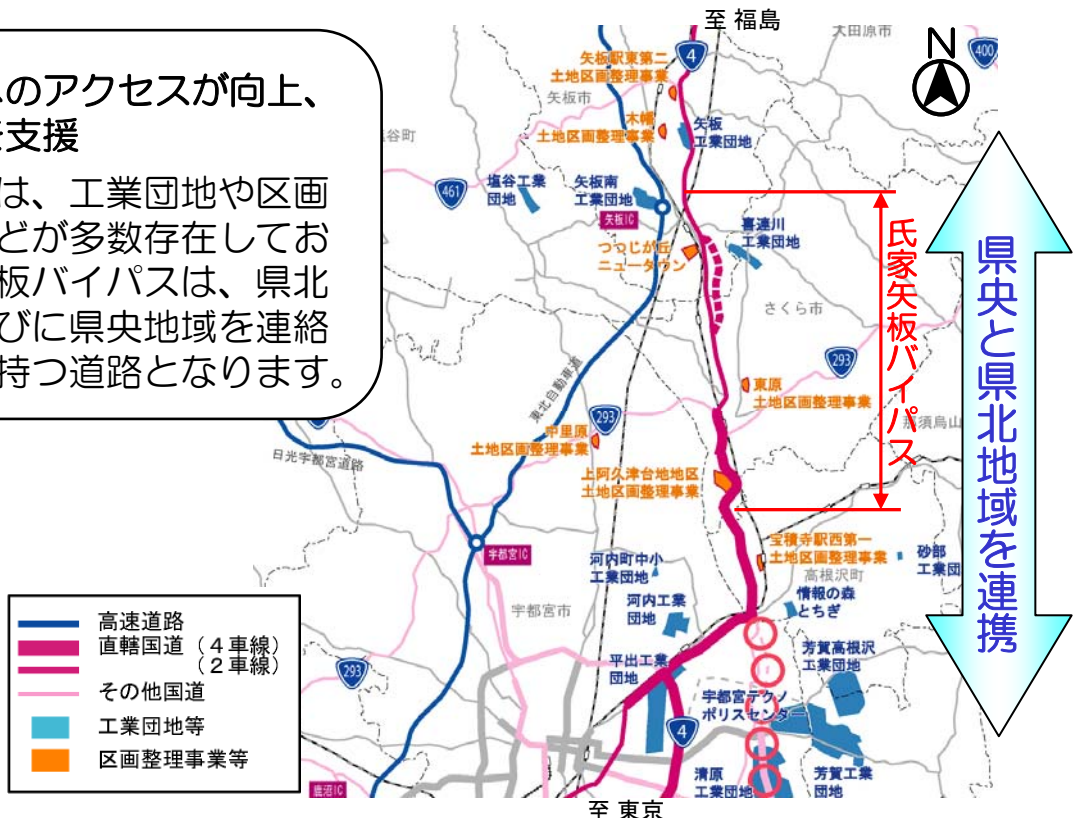
○時間短縮でアクセスが向上

氏家矢板バイパスの整備により、情報サービス、輸送機械業等が集積する工業団地「情報の森とちぎ」から東北自動車道「矢板IC」までの所要時間が、約30分から約22分に約8分短縮（約3割減）され、物流の効率化に寄与します。



○工業団地へのアクセスが向上、地域産業を支援

周辺地域には、工業団地や区画整理事業などが多数存在しており、氏家矢板バイパスは、県北地域、ならびに県央地域を連絡する機能を持つ道路となります。

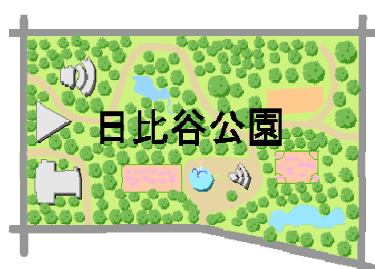


■国道4号氏家矢板バイパスが全線完成した場合の整備効果

CO₂、NO_x、SPMの削減に寄与

氏家矢板バイパスが全線完成することにより、周辺道路の通行がスムーズになり、速度が上がると自動車から排出される二酸化炭素（CO₂）、窒素酸化物（NO_x）、浮遊粒子物質（SPM）が削減され、周辺地域の環境改善効果が期待されます。

二酸化炭素（CO₂）の削減効果



×約31倍

1年間に約**5,300 t**-CO₂の削減が期待されます。

○この削減量は、森林面積約500haの二酸化炭素吸収量に相当します。

○日比谷公園（約16ha）の面積の約31倍に相当します。

窒素酸化物（NO_x）の削減効果



×約18万台

1年間に約**56 t**の削減が期待されます。

○大型車に換算すると約18万台に相当します。

※大型車1台が東京都における平均距離を走行した場合のNO_x排出量

※大型車の速度を40km/h、平均走行距離を70km/台として換算

浮遊粒子状物質（SPM）の削減効果



×約3.8万本

1年間に約**3.8 t**の削減が期待されます。

○500mlペットボトル約38,000本分に相当します。

※ペットボトル1本(500ml)に入るSPMを約100gとして計算